2024年度　シラバス

講義名	方法	学年	学期	単位	担当教員
柔道整復理論Ⅰ	講義	1	前期	2	影山　舞

授業概要	国家試験でも出題数の多い柔道整復理論を復習する。
到達目標	上肢脱臼損傷の基礎を学び、現場で使える知識を習得する。
成績評価	期末試験（学科試験）で評価
実務経験	トレーナーや救護での臨床経験を交えて伝える。

前期	講義内容
1	鎖骨部の損傷（機能と解剖）、鎖骨の脱臼（胸鎖関節前方脱臼）
2	鎖骨の脱臼（肩鎖関節上方脱臼）、肩関節部の損傷（機能と解剖）
3	肩関節脱臼（肩関節前方脱臼、肩関節後方脱臼）
4	肩関節脱臼（肩関節下方脱臼、肩関節上方脱臼）
5	肩関節脱臼（反復性肩関節脱臼）
6	肘関節部の損傷（解剖と機能）、肘関節の脱臼（前腕両骨脱臼）
7	肘関節の脱臼（橈骨頭単独脱臼、肘内障）
8	スポーツ損傷
9	手関節部の損傷（解剖と機能）、手関節部の脱臼（遠位橈尺関節脱臼）
10	手関節部の脱臼（橈骨手根関節脱臼、月状骨脱臼および月状骨周囲脱臼）
11	手・手部の損傷（解剖と機能）、手根中手関節の脱臼（手根中手（CM）関節脱臼）
12	中手指節関節（第1指および第1指以外の中手指節（MP）関節脱臼）、 指節間関節の脱臼
13	中手指節関節、指節間関節の脱臼（近位指節間（PIP）関節脱臼）
14	中手指節関節、指節間関節の脱臼（遠位指節間（DIP）関節脱臼）
15	期末試験
16	解説授業

使用教材	柔道整復学・理論編　第7版（南江堂）

2024年度　シラバス

講義名	方法	学年	学期	単位	担当教員
柔道整復理論Ⅰ	講義	1	中期	2	畑本　敬子

授業概要	国家試験でも出題数の多い柔道整復理論を復習する。
到達目標	国家試験でも出題数の多い科目を復習し、知識の定着をする。
成績評価	期末試験（学科試験）で評価
実務経験	整骨院での臨床経験の知識を交えて伝える。

中期	講義内容
1	鎖骨中央・遠位1/3境界部骨折　復習
2	肩甲骨骨体部骨折、上・下角骨折　復習
3	上腕骨外科頚骨折　復習
4	上腕骨近位骨端線離開　復習
5	上腕骨骨幹部骨折　復習
6	上腕骨顆上骨折　復習
7	上腕骨外顆、内側上顆骨折　復習
8	橈骨近位端部骨折、肘頭骨折　復習
9	ガレアジ、モンテギア骨折　復習
10	前腕両骨骨幹部骨折　復習
11	橈骨遠位端部骨折　復習
12	舟状骨、中手骨骨折　復習
13	基節骨、中節骨骨折　復習
14	末節骨骨折、マレットフィンガー　復習
15	期末試験
16	解答解説

使用教材	柔道整復学・理論編　第7版（南江堂）